



きらめく風

ホームページ

携帯サイト →



すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

6月1日の再開を目指して

校長 道山 正史

臨時休業が5月31日まで延長となっしまい、3か月目となっしまいました。3月の始めの時点で新型コロナウイルスの感染拡大がここまでになるとは考えず、正直言って私自身の予想をはるかに超えてしまいました。感染してしまうだけでなく、亡くなってしまう方が大勢いらっしゃることはとても悲しいことです。しかしながら、世界的に見て、日本で亡くなっしまわれる方の数が圧倒的に少ないのは、辛い毎日に耐えながら医療現場や関係する方々が必死になっ頑張っしてくださっているからだと思っいます。感謝を申し上げたいと思っいます。

さて学校は今、6月1日(月)からの学校再開を見据えて、世の中の情勢などが変化するたびに、何回も作り直している様々な予定や計画を、今度こそと願っながら作成しています。なので今回は、6月1日に再開できた場合に今のところ予定できることについて掲載しました。6月号にはもう少し細かいことについても掲載できたらいいと思っっています。また、各種の集金関係の願っいが今回はあります。学校も始まっっていないのに…と思われる方もいらっしゃると思っいますが、ワークテストやドリルなど、すでに注文して配布してあるものもあり、また給食費も食材等、始まる前に購入する必要があるため集金をさせていただきます。なにとぞご理解くださいますよう願っいたします。

感染した方の数が一時期よりも少なくなっていることに希望を見出しながらも、気持ちを緩めずに対応していくことが大切です。学校としても、子供たちの安全を第一に考えた判断をしていきたくと思っいます。6月1日に学校が再開できたとしても、慎重なスタートが肝心でしょうし、それ以降の各計画も、例年とは全く異なっってしまうことになるでしょう。例えば、運動会や音楽会はそもそもできる環境になるのか、できるとしてもどういうやり方で行うのか。移動教室や水泳の学習はできるのか。夏季休業日はどのように変更されるのか。社会科見学のようなバスを使う校外学習は実施できるのか。などなど、考えなければならないこと、教育委員会からの指示を待たねばならないこと、判断しなければならないことなどがたくさんあります。これから、その時時点での判断でお知らせをしても、変更になっしまうことが多く起こっくることも予想されますが、そのたびにお知らせをし、ご理解を得られるように教職員ともども努力をしまっいます。

6月1日に学校が再開でき、子供たちが友達や教職員との再会を喜び、活気ある学校生活が一日も早く取り戻せるように、それでも慎重に進んでいきたくと思っいます。皆様も新型コロナウイルスの感染に気を付けながら、健康に留意していただきますよう願っいたします。